

## 令和 4 年度第 1 回宮城県環境審議会水質専門委員会議における御意見への対応（訂正・未対応分）

区分	意見	発言委員	対応内容	最終案該当頁	所管																			
1	負荷量の推移	江成委員	<p>養魚場からの排出負荷量は、計画策定時（H23）データにも含まれておりました。令和 4 年度第 1 回会議の説明を訂正いたします。</p> <p>産業系排出負荷量が増えた要因は、<u>参考資料 2 のとおり第 6 期計画中間評価において、養魚場からの負荷量の設定を見直した</u>こと増加に加え、製造業からの負荷量も増えていることです。おりました。</p> <p>なお、令和 3 年度において、産業系負荷のうち養魚場が占める割合は <u>7</u><del>8</del>割以上であり、大部分と言えます。</p> <p>【参考】</p> <p>COD 排出負荷量(kg/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">負荷系別</th> <th>H23</th> <th>H28</th> <th>R 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">産業系</td> <td>製造業</td> <td>37.7</td> <td>47.2</td> <td><u>53.1</u></td> </tr> <tr> <td>養魚場</td> <td>61.7</td> <td>125.8</td> <td>125.9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td><u>99.4</u></td> <td><u>173.0</u></td> <td><u>179.0</u></td> </tr> </tbody> </table>	負荷系別		H23	H28	R 3	産業系	製造業	37.7	47.2	<u>53.1</u>	養魚場	61.7	125.8	125.9	合計		<u>99.4</u>	<u>173.0</u>	<u>179.0</u>	P6	環対課
負荷系別		H23	H28	R 3																				
産業系	製造業	37.7	47.2	<u>53.1</u>																				
	養魚場	61.7	125.8	125.9																				
合計		<u>99.4</u>	<u>173.0</u>	<u>179.0</u>																				

	区分	意見	発言 委員	対応内容	最終案 該当頁	所管																																						
2	貯水池 内の対 策	流入河川に設置した貯砂ダムからの 土砂の搬出量はデータとしてあるの か。	江 成 委員	各貯砂ダムの掘削実績量については下記のとおりです。  <各貯砂ダムの掘削実績量> (m <sup>3</sup> ) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">太郎川貯砂ダム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 21 年度</td><td>4,708</td></tr> <tr><td>平成 23 年度</td><td>12,613</td></tr> <tr><td>平成 24 年度</td><td>9,874</td></tr> <tr><td>平成 25 年度</td><td>2,007</td></tr> <tr><td>計</td><td>29,202</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">北川貯砂ダム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 17 年度</td><td>20,804</td></tr> <tr><td>平成 18 年度</td><td>11,968</td></tr> <tr><td>平成 19 年度</td><td>6,811</td></tr> <tr><td>平成 27 年度</td><td>17,103</td></tr> <tr><td>計</td><td>56,686</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">前川貯砂ダム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 13 年度</td><td>21,762</td></tr> <tr><td>平成 21 年度</td><td>30,087</td></tr> <tr><td>平成 22 年度</td><td>12,135</td></tr> <tr><td>平成 26 年度</td><td>8,337</td></tr> <tr><td>平成 28 年度</td><td>15,051</td></tr> <tr><td>計</td><td>87,372</td></tr> </tbody> </table>	太郎川貯砂ダム		平成 21 年度	4,708	平成 23 年度	12,613	平成 24 年度	9,874	平成 25 年度	2,007	計	29,202	北川貯砂ダム		平成 17 年度	20,804	平成 18 年度	11,968	平成 19 年度	6,811	平成 27 年度	17,103	計	56,686	前川貯砂ダム		平成 13 年度	21,762	平成 21 年度	30,087	平成 22 年度	12,135	平成 26 年度	8,337	平成 28 年度	15,051	計	87,372	P28	国交省
太郎川貯砂ダム																																												
平成 21 年度	4,708																																											
平成 23 年度	12,613																																											
平成 24 年度	9,874																																											
平成 25 年度	2,007																																											
計	29,202																																											
北川貯砂ダム																																												
平成 17 年度	20,804																																											
平成 18 年度	11,968																																											
平成 19 年度	6,811																																											
平成 27 年度	17,103																																											
計	56,686																																											
前川貯砂ダム																																												
平成 13 年度	21,762																																											
平成 21 年度	30,087																																											
平成 22 年度	12,135																																											
平成 26 年度	8,337																																											
平成 28 年度	15,051																																											
計	87,372																																											
3	農業地 域対策	農業地域の対策における側条施肥機 の導入台数は手段のため、導入を必要 とする面積をどれだけカバーできたか という視点の記述も追加したほうが分 かりやすい。	山 田 委員	第 6 期中の側条施肥機導入台数と、川崎町の農地面積（水稻）に対する カバー面積の割合を計画に記載しました。	P32	川崎町																																						